

**横浜市がクラウド型 PR 効果測定ツール「PR Analyzer<sup>®</sup>」を導入  
～情報波及数を可視化することで、より効果的な広報活動を実現～**

ビルコム株式会社（本社:東京都港区 代表取締役兼 CEO:太田滋、以下ビルコム）は、横浜市（神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地-10）がビルコムの開発、提供するクラウド型 PR 効果測定ツール「PR Analyzer<sup>®</sup>」を導入したことをお知らせします。



#### ■ 「PR Analyzer<sup>®</sup>」導入の背景

横浜市が掲げる「誰もが自分らしさを発揮し、いきいきと安心して暮らすことができる街」の実現に向け、市の重要施策のひとつとして、2022年度より「シティプロモーション推進室」が設置されました。

プロモーションの統括部署として、広報と報道、プロモーションを一体的に展開し、市民の立場に立った「迅速・正確」な「伝わる」情報発信を効果的かつ戦略的に行うため、「PR Analyzer<sup>®</sup>」の導入に至りました。

#### ■ 「PR Analyzer<sup>®</sup>」導入の理由

- ・プレスリリースの内容や活動ごとに、露出数の差異を把握できる
- ・SNS 波及数を可視化し、発信した情報が効果的に広がっているかを把握できる
- ・クリッピングやレポート作成など手作業で行っていた業務をデジタル化することで、業務効率化を実現できる

「PR Analyzer<sup>®</sup>」の活用により、横浜の都市ブランド力向上、市政への理解を高める広報・プロモーション展開が期待されます。

参考：横浜市令和4年度事業概要

[https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/seisaku/unei/r4seisakugaiyou.files/0005\\_20220523.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/seisaku/unei/r4seisakugaiyou.files/0005_20220523.pdf)

本プレスリリースに関する問い合わせ先

広報担当 TEL/03-5413-2411 FAX/03-5413-2412 E-MAIL/cc@bil.jp

## ■クラウド型 PR 効果測定ツール「PR Analyzer<sup>®</sup>」について



「PR Analyzer<sup>®</sup>」は、テレビ、新聞、雑誌、Web と SNS を網羅したクラウド型 PR 効果測定ツールです。広告換算費、リーチ数、シェア・オブ・ボイスなど複数の指標を用いて、競合比較も可能です。

4 マスを網羅したクリッピング機能、レポートや分析に活用される国内唯一の効果測定ツールとして、大手からスタートアップまで、多くの企業に導入されています。

PR Analyzer<sup>®</sup>は手作業の多い広報業務の負担を IT によって解消し、働き方改革や業務効率化に貢献します。また、PR 活動の成果を定量化することで、事業成長に欠かせない戦略的な PR をサポートしてまいります。

### <PR Analyzer<sup>®</sup>の特徴> <https://www.pranalyzer.jp/>

#### 1. 全媒体を網羅したクラウド型 PR 効果測定ツール

テレビ、新聞、雑誌、Web サイト合計 7,000 以上の媒体に加え、Twitter の言及数と口コミ内容、Web 記事の SNS 波及を網羅して効果測定を実施します。

#### 2. テレビ視聴率など各種媒体データと当社独自ロジックによるリーチ数を算出（特許取得済<sup>※1</sup>）

1969 年に発刊した月刊メディア・データ<sup>®</sup>に基づく媒体データや、テレビ番組や TV-CM の調査・分析・配信を行っている株式会社ワイヤーアクションの TV メタデータ、株式会社ビデオリサーチのテレビ視聴データに加え、当社独自のロジックを組み合わせることで、記事・番組ごとのリーチ数を自動算出します。

#### 3. 重要指標スコアを用いた競合比較機能（※特許取得済）

自社と競合企業のブランド名を設定することで、競合露出状況の確認、自社との比較・分析が可能です。リーチ数、掲載数、広告換算費などの重要指標、SNS 波及数を偏差値にて相对比较することで、自社の強みや弱みを把握することができます。

#### 4. クリッピングから効果測定・レポート生成・社内共有までを自動化

キーワードを登録するだけで、記事クリッピングからレポート生成まで一括して行います。過去の記事を遡ってクリッピングすることも可能です。

#### 5. Web 記事の SNS 反響を可視化

Web 記事ごとで SNS へのシェア数など反響を確認することができます。これにより、ユーザーからの反響や情報拡散状況を特定・分析することができます。

## 6. Twitter の言及数を分析

登録ブランド名について言及された Tweet 数と口コミ内容を分析、可視化します。新聞・テレビ・雑誌・Web の露出と一元管理が可能なため、統合的な分析やレポート作成も可能です。

## 7. 大手企業中心に広がる導入企業実績

導入件数は 150 件を超え、日本航空、アスクル、ヤマハ、ニューバランス、DMM.com、メルカリなど、大手から中小企業まで様々な企業に導入いただいています。

※特許番号：特許 第 6711870 号

### ビルコム株式会社 会社概要

社名 : ビルコム株式会社

所在地 : 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー 11F

代表者 : 代表取締役兼 CEO 太田 滋 (おおた しげる)

設立 : 2003 年 10 月

資本金 : 2,000 万円

企業 URL: <https://www.bil.jp/>

ビルコム株式会社は、統合型 PR ソリューション、クラウド型 PR 効果測定ツール「PR Analyzer<sup>®</sup>」、国内唯一の広告媒体データベース「月刊メディア・データ<sup>®</sup>」を展開する唯一無二の PR Tech<sup>®</sup>カンパニーです。データとテクノロジーを活用して、複雑・高度化する PR 業務を包括的に支援します。

書籍「広告をやめた企業は、どうやって売り上げをあげているのか。」(インプレスジャパン)、「WebPR のしかけ方」(インプレスジャパン)を上梓するほか、2020 年~2021 年には、青山学院大学大学院国際マネジメント研究科(社会人向けビジネススクール・MBA 課程)にて、寄附講座「SNS 時代のパブリックリレーションズ」を開催しました。

※「PR Analyzer<sup>®</sup>」、「PR Tech<sup>®</sup>」はビルコム株式会社の登録商標です。

加盟団体：

一般社団法人 日本広告業協会、一般社団法人 日本インタラクティブ広告協会、公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会、一般社団法人 日本 A B C 協会、WOM マーケティング協議会、日本広報学会、一般社団法人 科学技術と経済の会